

# 文の京 ゆかりの文化人

令和元年に記念の年を迎える  
主なゆかりの文化人

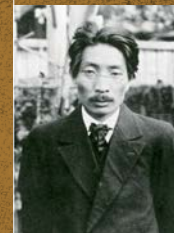
- 泉鏡花——小説家 [1873-1939] 没後80年
- 内田百閒——小説家・随筆家 [1889-1971] 生誕130年
- 大橋乙羽——編集者 [1869-1901] 生誕150年
- 岡田三郎助——洋画家 [1869-1939] 生誕150年  
没後80年
- 奥村土牛——日本画家 [1889-1990] 生誕130年
- 川口松太郎——小説家・劇作家 [1899-1985] 生誕120年
- 河鍋曉齋——浮世絵師・日本画家 [1831-1889] 没後130年
- 川端康成——小説家 [1899-1972] 生誕120年
- 岸田劉生——洋画家 [1891-1929] 没後90年
- 久保田万太郎——小説家・劇作家 [1889-1963] 生誕130年
- 小堀杏奴——随筆家 [1909-1998] 生誕110年
- 三遊亭圓朝——落語家 [1839-1900] 生誕180年
- 瀧廉太郎——音楽家 [1879-1903] 生誕140年
- 辻邦生——小説家・仏文学者 [1925-1999] 没後20年
- 寺崎広業——日本画家 [1866-1919] 没後100年
- 永井荷風——小説家 [1879-1959] 生誕140年  
没後60年
- 馬場孤蝶——翻訳家・随筆家 [1869-1940] 生誕150年
- 正宗白鳥——小説家・劇作家 [1879-1962] 生誕140年
- 宮本百合子——小説家 [1899-1951] 生誕120年
- 室生犀星——詩人・小説家 [1889-1962] 生誕130年
- 森田草平——小説家・翻訳家 [1881-1949] 没後70年
- 吉岡彌生——教育者・医学者 [1871-1959] 没後60年
- 和辻哲郎——哲学者 [1889-1960] 生誕130年



徳田秋聲  
提供・徳田秋聲記念館



泉鏡花  
提供・泉鏡花記念館



室生犀星  
提供・室生犀星記念館

森鷗外をはじめとする、さまざまな分野の文化人が足跡を残した地・文京。その代表的な文化人を顕彰し、文京区の多様な文化的資源を広く発信します。今年度は、8月に友好都市となった金沢市と文京区、双方にゆかりある三文豪、徳田秋聲・泉鏡花・室生犀星を中心に、さまざまな顕彰事業を実施します。また生誕140年・没後60年を迎える永井荷風についても関連事業を行います。

## 文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

### 文化資源担当室・文京ふるさと歴史館

#### 朗読コンテスト (主催：文京区 主管：跡見学園女子大学)

##### ◆本選 観覧者募集

録音審査通過者（一般の部・青少年の部 計16人）が、課題作家（泉鏡花・内田百閒・江戸川乱歩・永井荷風・萩原朔太郎・室生犀星）の作品を朗読します。

日時：令和元年10月20日（日）13時～16時

会場：跡見学園女子大学プロッサムホール（大塚1-5-2）

定員：300人（抽選） 観覧料：無料

申込：応募はがき、FAX、メールに「朗読コンテスト観覧」・住所・氏名・観覧人数を明記し下記へ。締切は10月4日（金）。

問合せ：跡見学園女子大学文京キャンパス事務室朗読コンテスト係  
〒112-8790 東京都文京区大塚1-5-2

TEL 03-3941-7420 FAX 03-3941-8333 E-mail event@atomi.ac.jp

### アカデミー推進課文化事業係

#### 令和元年度文京区企画展「村田省蔵遺作展」(仮)

金沢市出身の洋画家・村田省蔵（1929～2018）は、情緒豊かな日本の気候風土を表現した油絵作品を多数生み出しました。また、かつて区内に居を構えていた縁で、平成18年度より文京区秋の文化祭絵画展の主席審査員をつとめました。金沢市・文京区友好都市締結を記念し、遺作展を開催します。

会期：令和2年2月15日（土）～23日（日） 時間：10時～18時

会場：文京シビックセンター 1階 展示室1ギャラリーシビック（春日1-16-21）

入場料：無料

問合せ：アカデミー推進部アカデミー推進課文化事業係

TEL 03-5803-1120

https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/gejutsu/bunka/kikakuten.html

### （公財）文京アカデミー

#### 文京e-ラーニング講座「文京アカデミア講座 金沢の三文豪と文京区」

インターネット上で、金沢の三文豪に関する講座が視聴できます。

講師：秋山 稔氏（泉鏡花記念館館長・金沢学院大学学長）

概要：時間85分（2018年実施・収録） 費用：無料

視聴方法：（公財）文京アカデミーのホームページ（https://www.b-academy.jp）にアクセス。「講座・催し物」→「e-ラーニング」→「視聴ページはこちら」→「視聴したい講座のタイトル」をクリックしてください。

#### シビックシネマサロン 川端康成生誕120年 雪国 (TV版)

ノーベル賞作家・川端康成の名作「雪国」を上映します（16mmフィルム 72分 モノクロ 1957年制作）。

監督：豊田四郎 出演：池部良、岸恵子ほか

日時：令和元年9月20日（金） 開演：13時30分（開場：13時10分）

会場：アカデミー文京レクリエーションホール（文京シビックセンター地下1階）

対象：文京区内在住、在勤、在学者（15歳以上、中学生を除く）

定員：100人（先着順） 参加費：無料

参加方法：当日11時30分より会場で整理券を配布。ただしお待ちの方が多くなり、他の施設利用の妨げになる場合は11時30分以前に整理券を配布する場合があります（定員になり次第締め切り）。詳細は財団広報誌「スクエア」及びホームページ等でご確認ください。

問合せ：（公財）文京アカデミー学習推進係

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

TEL 03-5803-1119 https://www.b-academy.jp/

#### 令和元年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

令和元年（2019）9月4日発行

編集・発行：文京区アカデミー推進部アカデミー推進課

文化資源担当室（文京ふるさと歴史館）

〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29 TEL 03-3818-7221

https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/

印刷物番号 J0219010

## 文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

### 森鷗外記念館

#### コレクション展「文学とビール—鷗外と味わう麦酒の話」

日本では明治40年代以降から広く飲まれるようになったビール。文学作品に登場したビールや鷗外とビールとの接点を紹介します。

会期：令和元年7月5日（金）～10月6日（日）

休館日：9/24

観覧料：300円（20人以上の団体240円）

同時開催：コーナー展示

「ドイツ三部作 鷗外が描いたベルリン、ミュンヘン、ドレスデン」

『舞姫』『うたかたの記』『文づかひ』（ドイツ三部作）を、鷗外のドイツ留学体験などを交えて紹介します。



誕生日祝いに贈られた  
ビールジョッキ

#### 特別展「荷風生誕140年・没後60年記念 永井荷風と鷗外」

永井荷風は明治12年に現在の文京区春日に生まれ、転居はあるものの約13年間を文京区内で過ごしました。生涯鷗外を敬愛していた荷風と、鷗外との交流を探ります。

会期：令和元年10月12日（土）～令和2年1月13日（月・祝）

休館日：11/26、12/24、12/29～1/3

観覧料：500円（20人以上の団体400円）

※11/1開館記念日は、展覧会観覧者全員にオリジナルポストカードをプレゼント。



荷風と鷗外（明治44年）

#### 開館記念日講演会「おくりな 論、元号、即位式—鷗外の嘆き」

鷗外は、大正6年12月に帝室博物館総長兼図書頭に就任すると、晩年は歴代天皇の論や元号の考証に力を注ぎました。「令和」という新しい時代を迎えた今、鷗外の信念を再確認します。

日時：令和元年11月24日（日）14時～16時

講師：山崎一頼氏（跡見学園女子大学名誉教授、森鷗外記念会顧問）

会場：跡見学園中学校高等学校 跡見李子記念講堂（文京区大塚1-5-9）

対象：どなたでも 定員：200名（抽選） 参加費：1,000円

申込：往復はがきまたはメール。締切は11月8日（金）必着。詳細はホームページでご確認ください。

#### コレクション展「父と母」(仮)

鷗外の父・静男、母・峰子、義父母を紹介しながら、明治の家族、鷗外作品にみられる親子を考えます。

会期：令和2年1月18日（土）～3月31日（火） 休館日：1/28、2/25、2/26、3/24

観覧料：300円（20人以上の団体240円）※1/19鷗外誕生日は無料公開日

同時開催：コーナー展示「鷗外と啄木」(仮)

平成31年2月に文京区と友好都市提携した盛岡市ゆかりの文化人・石川啄木と鷗外の交流を、館藏品から紹介します。

問合せ：文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4

TEL 03-3824-5511 https://moriogai-kinenkan.jp

開館時間：10時～18時（最終入館17時30分）

※中学生以下、障害者手帳提示の方と介護者1人は観覧料無料



#### ※ふるさと歴史館・森鷗外記念館 相互割引のお知らせ

- 歴史館入館券、友の会会員証、歴史館パンフレット（押印あり）提示→森鷗外記念館観覧料が2割引
- 森鷗外記念館入館券、鷗外バス提示→歴史館の入館料が団体料金適用

# 徳田秋聲

【とくだ・しゅうせい】  
(1871~1943)  
小説家



徳田秋聲 (昭和初期)  
提供：徳田秋聲記念館

明治4年、金沢県金沢町第四区横山町(現・石川県金沢市横山町)の旧加賀藩士の家に生まれる。本名は末雄。第四高等中学校中退後、文学を志し上京。紆余曲折を経て、泉鏡花の勧めで尾崎紅葉の門に入る。自然主義文学の代表的存在として、『新世帯』『徴』『あらくれ』『仮装人物』など多くの作品を残す。昭和16年、軍当局の干渉を受け中断した『縮図』が遺作となる。文京区域には、本郷区向ヶ



徳田秋聲旧宅  
(本郷6-6-9)  
東京都指定史跡。  
明治末期築の母屋とその後に増築された離れの書斎、2階住宅部分、庭などで構成される。門内側の矢竹は室生犀星から贈られたもの。

岡弥生町(現・弥生2)、小石川区小石川表町(現・小石川3)などに居住。明治39年4月に転居した本郷区森川町(現・本郷6)は、亡くなるまでの37年

余りを過ごし、終の棲家となった。

■徳田秋聲記念館  
石川県金沢市東山1-19-1  
TEL 076-251-4300

# 泉鏡花

没後80年

【いづみ・きょうか】  
(1873~1939)  
小説家



泉鏡花 (明治30年頃)  
提供：泉鏡花記念館

明治6年、石川県金沢町下新町(現・石川県金沢市下新町)生まれ。本名は鏡太郎。金沢区高等小学校、愛真学校(のち北陸英和学校)などで学ぶ。明治23年、文学を志し上京、翌年尾崎紅葉に入門。浪漫と幻想の世界を小説や戯曲で表現、『高野聖』『婦系図』『日本橋』『天守物語』など、300編余りの作品を生み出した。文京区域には、上京した頃に湯島天神下、本郷四丁目、龍岡町、湯島新花町など、



泉鏡花筆塚

昭和17年(鏡花没後3年)、湯島天満宮(湯島3-30-1)境内に建てられた。鏡花使用の筆墨数百本が埋められている。湯島天満宮は『湯島詣』や『婦系図』の舞台となったゆかりの地。

本郷・湯島周辺を転々とした。明治28年、小石川区戸崎町(現・白山2)の博文館・大橋乙羽家で起居しながら『日用百科全書』の編集に携わる。翌年に独立し、小石川区小石川大塚町(現・大塚1)の長屋に祖母・弟と共に住んだ(～明治36年)。

■泉鏡花記念館  
石川県金沢市下新町2-3  
TEL 076-222-1025

# 室生犀星

生誕130年

【むろお・さいせい】  
(1889~1962)  
詩人・小説家



室生犀星 (大正8年頃)  
提供：室生犀星記念館

明治22年、金沢に生まれる。生後ほどなく金沢市千日町の雨宝院住職・室生真乗と内縁関係にあった赤井ハツにもらわれ、照道と命名される。金沢市立長町高等小学校を中退し、金沢地方裁判所に就職、俳句・詩の創作を行う。明治43年上京、その後帰郷と上京を繰り返す。その間、本郷区根津片町、駒込千駄木町、小石川区白山前町の妙清寺など、主に文京区域を転々とする。大正5年、萩原



医王山妙清寺  
(白山5-33-15)  
慶長11年神田御弓町で開山、明暦3年大火により現在地に移転した曹洞宗の寺院。大正3年7月、犀星は経蔵の2階を借りて住んだ。

■室生犀星記念館  
石川県金沢市千日町3-22  
TEL 076-245-1108

朔太郎と詩誌『感情』を創刊。詩集『愛の詩集』『抒情小曲集』を発表。のちに『性に眼覚める頃』『あにいうと』『杏っ子』などの小説も発表した。



生誕140年・没後60年

# 永井荷風

【ながい・かふう】  
(1879~1959)  
小説家



永井荷風 (昭和22年頃)  
所蔵：永井壯一郎氏 協力：市川市

明治12年、小石川区金富町(現・春日2)生まれ。本名は壮吉。この地より、東京女子師範学校附属幼稚園(現・湯島1)、黒田小学校(現・小日向2)、東京府尋常師範学校附属小学校高等科(現・小石川4)などに通う。作品『狐』『日和下駄』『伝通院』などに生育地周辺が描かれている。米仏に留学後、『あめりか物語』などの作品を発表し、耽美派の代表的作家となる。敬愛する森鷗外の推挙を受けて慶應義塾大学教授となり、『三田文学』を創刊。『断腸亭日乗』は大正6年から没年までの日記。昭和27年、文化勲章受章。

■市川市文学ミュージアム  
千葉県市川市鬼高1-1-4 TEL 047-320-3334

## 文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

### ●文化資源担当室・文京ふるさと歴史館

#### 歴史講演会「秋聲・鏡花・犀星—金沢三文豪と文京—」

前半は文京と金沢、両都市にゆかりある三文豪・徳田秋聲、泉鏡花、室生犀星の生涯や文学に関する講演、後半は長く文京の地に暮らした秋聲について、ご子孫との対談も行います。

日 時：令和元年10月19日(土) 14時~16時30分(開場13時30分)

講 師：大木志門氏(山梨大学准教授)  
徳田章子氏(徳田秋聲令孫・徳田秋聲記念館名誉館長)

会 場：文京区男女平等センター 研修室A(本郷4-8-3)

対 象：高校生以上 定 員：100人(抽選) 参加費：無料

申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「10/19歴史講演会」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、返信用にあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は10月3日(木) 必着。

#### 史跡めぐり「金沢ゆかりの文豪の足跡をたどる~湯島から本郷へ~」

コース：湯島天満宮—東京大学本郷キャンパス—徳田秋聲旧宅—文京ふるさと歴史館—宝生能楽堂(約3.5km)

日 時：令和元年10月9日(水) 13時~16時(雨天決行)

ガイド：ふるさと歴史館友の会「文京まち案内」ボランティアガイド

対 象：高校生以上 定 員：50人(抽選) 参加費：40円(保険料)

申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「10/9史跡めぐり」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、返信用にあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は9月24日(火) 必着。

#### 特別展「ぶんきょう写真帖一時を感じる」

文京を写した貴重な古写真や懐かしい写真、街の風景の現状比較なども展示します。ゆかりの文化人に関する写真も紹介します。

会 期：令和元年10月26日(土)~12月8日(日)

会 場：文京ふるさと歴史館 地下1階特別展示室

入館料：300円(20人以上の団体210円) ※11月3日(日・祝)は無料公開日

※中学生以下・65歳以上・友の会会員、障害者手帳等提示の方と介護者1人は入館料無料

問合せ：文京ふるさと歴史館 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29  
TEL 03-3818-7221

開館時：10時~17時

休 館 日：月曜・第4火曜(祝日の場合は翌日)(11/26は開館)

※月曜以外の休館日：9/17、24、25、10/15、23、11/5、12/24、12/26~1/4、14、28、2/25、3/24